

## 平成 23 年度 市政運営会議の議事概要について

<b>日 時</b>	平成 23 年 5 月 24 日 (火) 8:00～8:15
<b>議 題</b>	こども病院の整備場所について
<b>出席者</b>	高島市長、山崎副市長、渡邊副市長、大野副市長、 総務企画局長、財政局長、保健福祉局長、総務企画局理事 ほか
<b>決定事項</b>	<p>こども病院の整備場所をアイランドシティとする。</p> <p>整備にあたっては下記 2 点を踏まえる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○防災対策には十分に配慮する。</li> <li>○医師会の協力を得て、地域医療の体制を万全なものとする。</li> </ul> <p>本決定事項について、同日の市長定例記者会見で公表する。</p>
<b>主な意見</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○こども病院の整備場所についての疑問に思う市民の声を多く聞き、選挙公約として、整備場所決定のプロセスの合理性と妥当性の検証を掲げた。調査委員会を設けてオープンな場で専門家を交え議論する中で、二つのことが分かった。</li> <li>○一つは委員会でご指摘を受けたガバナンスのあり方である。文書管理だけでなく、議論をオープンに進めていく、説明責任を果たしていく、そういったことにこれまで以上に真剣に取り組まなければいけない。</li> <li>○もう一つは、求める病院の姿が、高度医療と地域医療でバラバラのまま議論が進められてきたということである。病院の医師や行政は、高度医療を実現するために、一定以上の広さを確保でき、早期に整備可能なアイランドシティを選択した。一方で現在のこども病院は地域医療の核としての役割も担っている。前回の整備場所決定において、地域医療を求める声に対してケアが足りなかったのではないかと。</li> <li>○高度医療を実現するのであれば、一定以上の広さでできるだけ早期に整備する。そのためには場所はアイランドシティしかない。これは調査委員会でのオープンな議論の中で私が得た、堂々と言える結論である。</li> <li>○地域医療にどう対応するか。お母さんたちの不安の声になんとかお応えすることができないか。私は調査委員会終了後に医師会に訪ね、小児地域医療に関しての協力を正式に要請した。昨日医師会長と連絡がとれ、福岡市医師会に地域医療を担っていただける、現在地もしくは現在地周</li> </ul>

辺で2次医療をしっかりとやっていただける、とのお話をいただいた。本日の記者会見で私と同席していただき、地域医療に関しての不安を取り除けるように話をしたい、と仰っていただいている。

○市長の判断を受けて、PFI の手続きを再開するに当たっては、指摘を受けた防災対策、災害に強い病院という点について万全にしてほしい。工期については、可能な限り早く市民の方のサービスを提供できるよう、最大限の努力をお願いしたい。

○長い時間をかけて、この問題が議論されてきたが、決めた以上はしっかりと早期に開院できるように、市をあげて取り組んでいく必要がある。